

# まちのニュースのカメラ・アイ ～地域のお話をお届けします～



10/17  
(木)

## 悪質な被害には騙されません

公民館恵み野ホールで三笠山大学公開講座として消費生活セミナーがおこなわれました。昨年に引き続き、土別消費生活協会劇団「さくら」のみなさんと、土別地区広域消費生活相談員の佐々木晃彩子氏を講師に迎え、寸劇『きっぱり断ろう！高齢者を狙った悪質な販売』ではわかりやすく消費者被害の現状を学び、講演『最近の悪質商法の手口とその対処法』では被害に遭わないための対処法を学びました。



## 緑を守り育てる 町民植樹祭

三笠山自然公園東側で町民植樹祭がおこなわれました。この事業は、植樹をとおり緑豊かな次世代の環境を創造することを目的に毎年開催しており、今年も約100名の参加者が、エゾヤマザクラなど計97本を植樹し、緑を守り育てる貴重な一日となりました。また、本植樹祭は『ニトリ北海道応援基金』の助成を受けているほか、各関係団体や多くの皆様の協力をいただいています。

『ニトリ北海道応援基金』とは

株式会社ニトリホールディングスが平成17年度に「北海道への恩返し」を目的に設立し、北海道の環境・福祉・教育・観光・植樹等の事業に助成をおこなっているものです。

10/19  
(土)



10/23  
(水)

## 懐かしい顔ぶれ 旭川和寒会

旭川花月会館で旭川和寒会（朝日文雄会長）の総会・親睦会がおこなわれました。1年ぶりに顔を合わせた67名の出席者はふるさとの思い出や近況を語り合い、アトラクションのよさこいやカラオケで盛り上がり、会場に笑い声が絶えない中、親睦と交流を深めました。



10/28  
(月)

## 熱気と笑いで興奮

公民館恵み野ホールで「歌と笑いものまねBIG SHOW in 和寒」がおこなわれました。テレビでお馴染みの「神奈月」や「ミラクルひかる」など出演者が、ステージから客席まで会場をいっぱいに使ったものまねライブを披露。満席となった会場は間近に見られる出演者の熱いパフォーマンスで興奮と笑いに包まれました。



10/29  
(火)

### 新就業者のつどい開催

公民館恵み野ホールで和寒町に新規就業したかたを対象に講演会、座談会をおこなう「新就業者のつどい」が開催されました。

講師にはぐるーぷほーむおや里かん施設長 鈴木健一郎氏をお招きし、言葉だけではない多様なコミュニケーションの大切さについてグループワークを交えながらおこなわれました。講演会後の座談会も含め、充実した内容に参加した新就業者たちは楽しみながら交流を深めました。



10/30  
(水)

### 近い！安い！便利！「ご用聞き隊」が移動販売

10月30日(水)、11月6日(水)、11月13日(水)、商工会商業部会が中心となって構成された「ご用聞き隊」が各地域に出向き移動販売をおこないました。

昨年に引き続き、高齢者の買い物支援事業として食料品、農産物、除雪道具や日用品などを車に積み、恵みヶ丘、かたくり、若草、西町、中和の5自治会を巡りました。

買い物に訪れた各地域のかたから「近くて、安くて、便利！」と大好評でした。



10/31  
(木)

### 携帯・インターネットの危険性

10月31日(木)、公民館恵み野ホールで教育力向上講演会第3弾「危険なワナから子どもたちを守ろう！～携帯やインターネットの安全な使い方とその危険性」、11月1日(金)には中学校で「スマートフォン・ネット安全教室」がおこなわれました。

講師に一般社団法人ECネットワーク理事 原田由里氏をお招きし、スマートフォンの普及で子どもたちにとってより身近なものとなったインターネットの現状とその便利さ、手軽さに潜む「危険性」が、実際の事件などの例を交えわかりやすく解説され、あらためて危険性を知る講演となりました。



11/7  
(木)

### 介護予防講座

保健福祉センターで運動指導士 五十公野 修 (いずみの おさむ) 氏を講師にお招きし、「なるほど、なっとく！運動講習会」をテーマに介護予防講座をおこないました。

講座では、椅子に座りながらおこなえる運動を実践し、日常生活の中で取り入れる工夫や、楽しくおこなうコツを紹介していただきました。講座には約50名が参加し、介護予防に効果的な体操について実技を通しながら学んでいました。



11/11  
(月)

### 知っておきたい！目の病気

保健福祉センターで「知っておきたい！目の病気」と題し、講師に名寄市立総合病院 眼科医長 南 喜郎先生をお招きし、健康づくり講演会がおこなわれました。

目が見える仕組みや、中高年のかたに起こりやすい白内障や緑内障、加齢黄斑変性か れいおつはんへんせいなどを中心に、定期的な健診や早めの眼科受診の重要性についてわかりやすく説明していただきました。参加者は、熱心に質問をするなど、目の病気についての理解を深めていました。